

# 会 議 録

会議名称	令和元年度タウンミーティング	記録者	健康福祉課 課長補佐
日 時	令和元年7月9日（火） 午後7時～午後8時30分		
会 場	北川尻会館		
出席者	町 長：町長、副町長、教育長、参事兼総務課長、参事兼財政課長、 企画振興課長、健康福祉課長補佐（書記） 住 民：29人		
会議内容	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明 4 第二次宝達志水町総合計画基本構想等の説明 5 意見交換 6 閉会		
会議結果	<p>●質問</p> <p>第1次総合計画の検証した結果はどうだったか。また、第2次計画に反映させるのか。</p> <p>第2次計画を推進していくには、年度ごとに達成状況の検証をして見直しをしていくことが重要と思うが、どうしていくのか。</p> <p>○回答（企画振興課長）</p> <p>第1次計画の10年間の施策については基本方針等に基づき進めてきた。しかし、主要指標である人口は減少した。</p> <p>反映については、町長は、第2次計画に定住促進、稼げる町づくりを目標に掲げている。第1次計画の検証を踏まえ、施策に盛り込んでいく。</p> <p>また、第2次総合計画では、指標を立て検証を踏まえ見直しを行っていく。</p> <p>●質問</p> <p>アンケート結果、基本方針等を示すだけでなく、具体的な方策を示してほしい。</p> <p>公共料金が高いという声を聞くが、町の不満なところのアンケートに出ていない。隠さずに表してほしい。</p>		

○回答（参事兼総務課長）

今の段階は、今までの10年間を検証し、基本構想案を策定したところである。具体的な案はもっているが、このようなタウンミーティング等により、これから主要事業を盛り込んだ基本計画を策定していく。今後役に立つためスタートにたったばかりである。色々な意見をお願いします。

公共料金のことは設問になっただけで、隠した訳ではない。

●質問

資料P4の町の魅力について、中学生には3つ突出しているものがある。「千里浜渚ドライブウェイ」「オムライス」「ルビーロマン」である。

このようなものを積極的に打ちだし、特色ある町づくりを目指してほしい。

町には、いいものがたくさんある。オムライスのPRなど、具体的な効果的な取り組みを願う。

○回答（副町長）

町の良いものを強く打ち出していく必要がある。

なぎさドライブウェイは世界に3つしかない車で走れる魅力的な場所である。ほとんどの人が羽咋市にあると思っているが、8kmのうち過半は当町にある。宝達山、水源の森100選に選ばれた森などいろいろある。（「わざわざ北海道からバイクで来る人もいるほど」と声有り。）

町には磨けば光る原石をちゃんと磨かないといけない。

●質問

小学校の合併について、現在どのような段階か。

○回答（教育長）

旧志雄町で1校、旧押水町で1校という方針は決定しているが、場所等はまだ未定である。細部がいつ決まるか未定だが、あとまだ決定してから4年程かかると思われる。

●質問

小学校の統廃合は時期尚早ではないかと思う。他の自治体で、統廃合でスクールバスを導入したが、だんだん乗らなくなり、運行をやめる事例も聞く。

ゆっくりと考えて場所の設定を決めてもらいたいと思う。

○回答（参事兼総務課長）

バスについては、しっかり対応する。他方、統廃合により、校下のつながりがなくなることが心配であるので、その対策は考える必要がある。

●質問

人口が減ることの対策ばかり聞こえるが、増やしていくことを考えてほしい。

町にはよいものがたくさんある。町の魅力をもっとPRしてほしい。

○回答（副町長）

前年比で人口を増やしていくことはかなり難しい。

中能登町やかほく市のように大型商業施設を建てるのは無理。

婚活にしても投資に見合う結果を出すのは難しい。

子育てサポートを充実させる。必要性を感じている。

●質問

かほく市では公園や遊び場が充実しているので、若者がかほく市で家を建てる事例は多い。当町でも遊べる場があればいい。

○回答（町長）

こどもの遊び場についての意見は多いと聞く。他に負けないものを作る必要性を感じている。

●質問

婚活イベントについて、テレビの番組を活用すればどうか。町名のPRにもなる。

○回答（副町長）

イベントで1発花火を上げるよりは、1対1でお見合いさせた方が成婚率は高い。費用対効果を考えつつ、展開していく。

●質問

「ナニコレ珍百景」に単線で無人の免田駅で、特急列車が午前9時15分に上下線遭遇する。

このような、町の珍しいもの等を「ナニコレ珍百景」に投稿すればどうか。

このような明るい話題を積極的に投稿していけばどうか。費用もかからないし、町が明るくなる。

○回答（町長）

楽しい企画を考えるのが大事であり、取り組んで行く。

●質問

副町長と教育長の二人にきく。今までの経歴をふまえ、今回の職に就任しての所感、個人的意見など。

○回答（副町長）

来るまではひたすら右肩下がりの町だろうと思っていた。しかし、今回お示したデータが示すように、底は打っている（上り傾向）。ただ観光はほとんど零点だと思っている。

町の子どもの学力は全国的に見てもトップクラスだがよく知られていない。

人脈でも何でも使えるものはすべて使い、町に貢献したいと考えている。

○回答（教育長）

第1次総合計画を作った時の総務課長だった。その時は、財政状況も厳しく皆様から怒号を浴びせられた。それから考えると隔世の感がある。今はやっと夢を語れるようになった。

教育現場では、先生がいかに自分に自信を持って子どもに接するかによって子どもの成績が上がると思う。大事なものは学校現場の向上、働き方改革であり、先生方が疲れていては効果が出ない、底上げしていく、油断しているとすぐ下降する。皆様にご協力いただきたい。